

2011.06.15

H23年度 人間環境学研究院他分野連携プログラム  
「子どもの育ちを支える協同関係の構築に向けて」

## 授業・教育実践と子ども

- 小中連携や家庭・地域との連携を見据えて -

田上 哲(TANOUE Satoru)  
人間環境学研究院教育システム専攻

1

## 本日の概要

- はじめに
- 背景としての重松授業分析と上田授業研究  
- 問題解決学習と個を育てる教育
- 子どもと地域  
- 学びのフィールドとしての地域
- 福岡駅の実践
- 財田町の事例

2

## 重松鷹泰の授業分析

- 授業分析(重松鷹泰)は何を見てきたか
- 授業における子どもの思考(思考体制)  
- 奈良女子大学附属小学校  
- 富山市立堀川小学校
- 個人が判別できる詳細な逐語的授業記録
- 抽出児(注目して観察する対象として)

3

## 子ども研究としての授業研究

4

## プリントの渡し方

5

## 上田薫の授業研究

- 授業研究(上田薫)は何を問題にしたか
- 人間理解の深まりと教師の自己変革
- カルテ・座席表・座席表指導案・全体のけしき  
- 静岡市立安東小学校
- 抽出児(よく知った手がかりとして)

6

おやっと思うことを書き留める

時間をおく

つなぎ合わせて解釈する

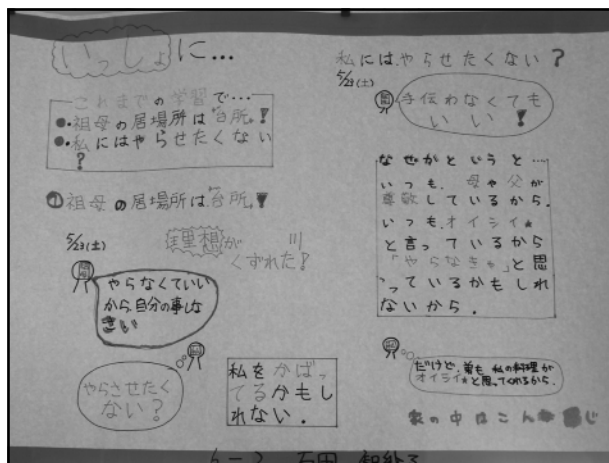
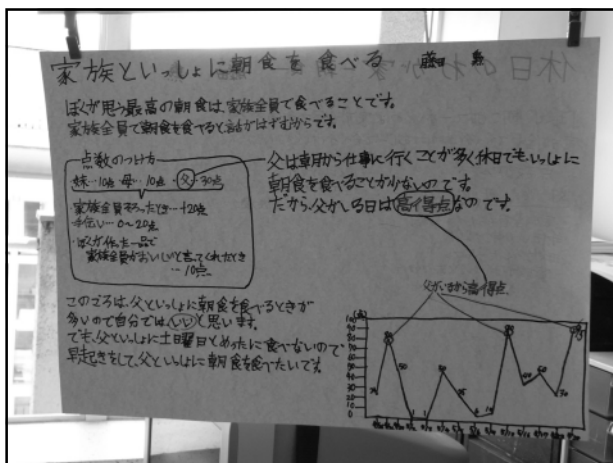
7

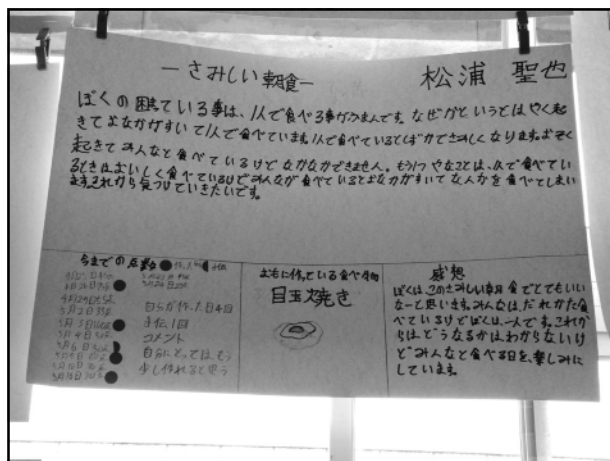
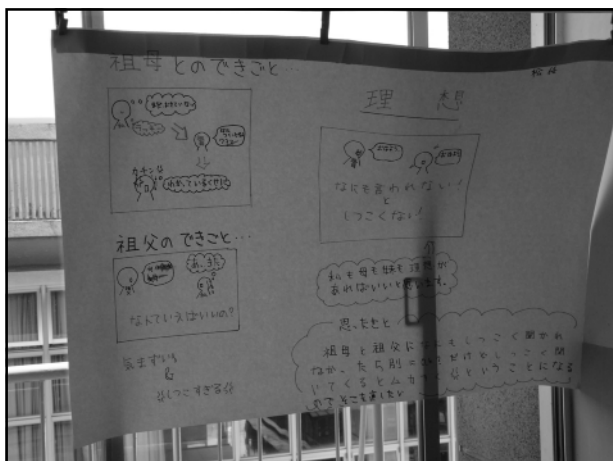
本当に大切なことは直接教えない

8

### 学校と家庭をつなぐ教育実践事例

- 我が家の食事 (富山市立堀川小学校)
- 自他の家庭を学習する
  - 自分の家庭を省察する
  - 自分の家族関係を級友 (教師) にひらく
  - 級友 (教師) の家族関係にふれる
- 視野のひろがりとアイデンティティの形成
- よりよき家庭をつくる子どもへ
- 教師にとって子どもの理解の重要な手がかり





### 授業記録と抽出児の問題

- 記録様式と教育観・授業観
  - 個人判別可能な記録とT・C記録
- 保存されている授業記録
- 抽出児
  - Cf.対象児
  - 選定基準

15

### 教育をどう考えるか

- 不完全な人間が不完全な人間にかかわること
- 知識の二つの相対性
- 人間が人間を教えることの限界
- 個に即してよき影響を与えることだけである

16

### 福岡駅の実践

17

### 子どもと地域・社会

- 地域教育の目的と方法
  - 校区としての地域
  - 故郷としての地域
  - 学習のフィールドとしての地域
- 自分の住まう場所を自分たちの地域にしていこう
- ソーシャル・ニードと子ども

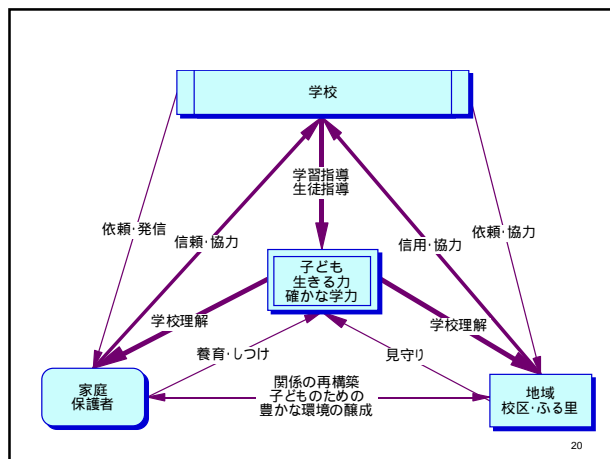
18

## 学校と家庭・地域で育てる 確かな学力の本質

財田上小学校・財田中小学校・和光中学校の  
「学び合い」を手がかりに

田上哲  
(九州大学教育学部)  
(九州大学大学院人間環境学研究院)

19



20

## 確かな学力を育てる道筋

- 基盤としての学校・家庭・地域の共通理解・相互理解
  - 事前・事中・事後
  - 共に子どもをよりよく育てるために
- 授業改善
  - 子どもにとってやりがいのある充実した授業を
- 子どもの変化・姿・子どもからの発信
  - 子どもは学校と家庭・地域をつなぐ最大のメディア
  - 仕掛け・工夫の必要性
- 家庭・地域からの信頼
- 子どものための豊かな環境としての家庭・地域

21

## 三校の授業改善の取り組みの中核 「学び合い」

- 「自主学習」の考えを生かす学び合い(財田上小学校)
- 生き生きと豊かに学び合う児童の育成(財田中小学校)
- 学び合う場の設定、「確かな学び合い」と「豊かな学び合い」(和光中学校)
- これからの授業改善 + αの重要な課題としての「学び合い」

22

## 重要な課題としての「学び合い」

- 教育方法・授業改善の課題
  - 例えば、PISA型読解力、フィンランドの教育
    - もう一つの課題としての個に応じた指導・個別指導
- 子どもたちの育ち・成長の課題
  - 他者とのかかわり合いとしての「学び合い」
  - かかわり合う経験の不足、偏り
  - 社会に生きる力としての、かかわる力、かかわり合っていく力

23

## 学び合いと確かな学力

- 習得したものを探究に活用する
- 習得したものが定着する(剥落しない)
- かかわりの過程で新しいものが習得される
  - 授業における学び合いが子どもにとって意味あるもの・意義あるものになれば、片々たる習得すべきものについても、教師の指示・指導によって比較的楽に、また子ども自身が授業時間以外に(家庭で)、自学的に学ぶ事態が成立していく
  - コーディネーター・ファシリテーターとしての教師

24

### 教師にとっての 学び合いのメリット

- 子どもたち一人ひとりの状況や変化、子ども同士のかかわり方を理解するための「時間」「余裕」ができる
- 集団による学習を深めるための、子ども相互のかかわらせ方の手がかりを得る
  - キーパーソンの子どもの存在
- 個に応じた指導・個別指導への判断・手がかりを得る
  - 気にかかる子どもの存在

25

### いろんな角度から君を見てきた

(Mr.Children しるし)

- 多角的に・多面的に子どもたちをみること
- レッテルを貼ること
- 学校での子どもの姿しか知らない教師
  - 学校(自分の前)での姿を鵜呑みにしないこと
  - 家庭や地域での子どもの姿を
- 家庭での子どもの姿しか知らない親
  - 家庭(自分の前)での姿を鵜呑みにしないこと
  - 学校や地域での子どもの姿を
- 地域での子どもの姿に素直な
- いろんな顔を持っている君を知っている

### 子どものことをどうとらえるか

- どうするか、どうしたらよいかよりも
- 温かい関心・見守り 冷たい関心・じろじろ目
- 大人が自分のことを真摯に話す
- 子どもが話し始めたら真摯に聞く(傾聴する)
- おやっと思ふことに気をとめる レッテル貼り
- 自発的な活動を見る

### 家庭・保護者の課題

- 次世代を育てる重要な仕事としての子育て
- この子(だけ)をいかに克服するか
- 自分とこの子のかかわり
- パートナーとこの子のかかわり
- 兄弟とのこの子のかかわり

### 学校・教師の課題

- 子どもをよく知ること、親よりも本人よりも深く子どもを知ること(大村はま)
- たくさんの子どもの相手をしているからこそ、この子という感覚をもつこと
- 対話としての教育
- 自然とでてくる様に 教師から話す
- 近くから見る・離れて遠くから見る 遠近法
- おやっと思ったことをメモ

### 地域の課題

- 子どもが育つ場所としての地域
- 強制・宿命が支配しない場所
- 人間と出会う場所
- 権力関係にないからこそ
- あいさつ
- 人を見たら と思え